



松山東雲女子大学
松山東雲短期大学

PRESS RELEASE

2026 年 9 月 16 日

報道関係者 各位

取材のお願い

愛媛銀行寄付講座「現代社会とライフデザイン」(1年生～)の 開講ご案内と取材のお願い

2026年度で第12回目を迎える愛媛銀行寄付講座を開講いたします。この講座は、松山東雲女子大学・短期大学の共通カリキュラムとして、全学の学生に向けて開講するものです。
ご案内申し上げますとともに、取材について宜しくお願い申し上げます。

記

1. 講座名
2026 年度松山東雲女子大学・松山東雲短期大学「現代社会とライフデザイン」(愛媛銀行寄付講座)
2. 日時・場所
日時：2026 年 9 月 30 日(水)～1 月 20 日(水)(予定)
16:20～17:50(90分) 全 15 回
※11 月 25 日(水)のみ、「公開講演会」として 18:00～19:00
場所：松山東雲女子大学・短期大学(松山市桑原 3 丁目 2-1) A 館 1F 1-1
3. 受講対象者・担当教員
松山東雲女子大学・短期大学 1 年生～ 約 90 名
担当教員：松山東雲女子大学教授 西村浩子・松山東雲女子大学講師 杜安然
4. 開講目的
本講座では「SDGs」の目標と結びつけながら、女子学生が自立・自律的に人生を設計していくために必要な知識・関心・意欲を身につけること、かつ有識者の講演・講話、グループワークなどを通して、現代社会における多様な生き方や考え方、働き方を知り、人生設計を考える上で出会う様々な課題について考えることを目的とします。
5. 協力団体
株式会社愛媛銀行、愛媛県、愛媛県議会、株式会社愛媛新聞社、株式会社ヘラルボニー
愛媛県社会保険労務士会、行政書士くにもと事務所、愛媛県在宅介護研修センター、
日本公認会計士協会四国会愛媛県部会、株式会社 hanafu

※ご取材いただける場合は、前日までにご連絡いただけますと助かります。

▶お問い合わせ・ご連絡先

松山東雲女子大学教授 西村浩子

松山東雲女子大学・短期大学事務局 藤田美穂

松山市桑原 3 丁目 2-1 TEL 089-931-6211(代)

▶発信元 広報

2026年度愛媛銀行寄付講座 松山東雲女子大学・短期大学「現代社会とライフデザイン」講座概要

松山東雲女子大学A館1階1-1教室/毎週水曜日5限目(16:20~17:50)

受講予定者数：大学79名(1年68名、2年2名、3年9名)、短大10名(1年6名、2年4名) 合計89名

回	日付		テーマ	講師(予定)
1	9月30日	(水)	・開講挨拶	株式会社愛媛銀行常務取締役 松井 宏治氏 松山東雲女子大学・短期大学学長 水代 仁
			・成年年齢引き下げと金融リテラシー	株式会社愛媛銀行企画広報部主任 田窪恵氏
2	10月7日	(水)	・社会人に向けて知っておきたいお金の話	株式会社愛媛銀行ソリューション営業部調査役 森敬嗣氏
3	10月21日	(水)	人生の選択～これまでの学びとこれからと～	松山東雲女子大学 西村浩子
4	10月28日	(水)	情報化社会の中で～情報リテラシー～	株式会社愛媛新聞社読者部副部長 村上ともこ氏、 報道部副部長 武下倫之氏
5	11月4日	(水)	生活・仕事と法律(労働災害、傷病手当)	社労士事務所つばき(社会保険労務士) 渡部博之氏
	11月11日	(水)	休講	
6	11月18日	(水)	「スポーツとくらし～パラスポーツから広がる自分らしい生き方と家族の形～」	行政書士くにもと事務所 國本司氏
7 8	11月25日	(水)	◆ワークショップ ◆公開講演会～見える世界と見えない世界～	ブラインド・コミュニケーター 石井健介氏 協力：株式会社ヘラルボニー
9	12月2日	(水)	中間振り返り 身近な大人へのライフインタビュー(発表)	松山東雲女子大学 西村浩子
10	12月9日	(水)	40年後の自分～老いるとはどういうことか～	愛媛県在宅介護研修センター
11	12月16日	(水)	愛媛の企業を知る～「会計監査」から見る愛媛の企業～	日本公認会計士協会四国会愛媛県部会 森貴弘氏 (会長)、井料愛氏、丸木章道氏
12	12月23日	(水)	愛媛県で暮らすこと	愛媛県議会議員の各氏
13	1月6日	(水)	グローバル化と多文化共生	松山東雲女子大学 杜安然
14	1月13日	(水)	私の選んだ道、出会った道(恋愛、結婚、子育て、介護)	株式会社hanafu代表取締役社長 大西千鶴氏
15	1月20日	(水)	◆授業の振り返り ◆私のライフデザインを考える	松山東雲女子大学 西村浩子・杜安然、 キャリア支援課

BLIND COMMUNICATOR

公開講演会

「見えない世界で見えてきたこと」

36歳で突然の失明という経験を経て、見えない世界と見える世界をつなぐ活動が続けている石井健介氏。見えない世界での実体験や日常の気づきを通じて、これからの社会を生きる上で視点を变えることの重要性、見えないからこそ見えてくる人の温かさや生き方のヒントを教えてくださいいただきます。



Profile

石井健介 KENSUKE ISHII

ブラインド・コミュニケーター

1979年生まれ。アパレルやインテリア業界を経てフリーランスの営業・PRとして活動。2016年の4月、一夜にして視力を失うも、軽やかにしなやかに社会復帰。ダイアログ・イン・ザ・ダークでの勤務を経て、2021年からブラインドコミュニケーターとしての活動をスタート。見える世界と見えない世界をポップに繋ぐためのワークショップや講演活動をしている。また2012年からセラピスト活動を開始。自然体でニュートラル、自分の内側にある静けさと穏やかさを見つけるための水先案内をしている。

協力 株式会社 ヘラルボニー  HERALBONY

日時 令和8年 2026 **11.25** WED 18:00～19:00

場所 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
愛媛県松山市桑原3丁目2-1

参加方法 参加無料 / どなたでもご参加いただけます。
右の二次元バーコードよりお申し込みください。
申込締切 11月18日（水）



 **愛媛銀行**

 松山東雲女子大学
松山東雲短期大学

本講演会は、愛媛銀行寄付講座「現代社会とライフデザイン」の一環として開催し、SDGsの理念のもと「多様性の尊重」と「相互理解」について皆様と考えます。



お問い合わせ先

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
TEL 089 (931) 6211
受付時間 9:00～17:50
mail: kouhou@shinonome.ac.jp

株式会社 ヘラルボニー



異彩を放つ作家とともに、
新しい文化をつくる
クリエイティブカンパニー

株式会社ヘラルボニー（HERALBONY Co., Ltd.）は、2018年7月設立、岩手県盛岡市に本社を置く企業。「異彩を、放て。」をミッションに、双子の松田崇弥・松田文登の両氏が共同代表を務める。主に知的障害のある作家とライセンス契約を結び、支援ではなく対等なビジネスパートナーとして正当なロイヤリティを還元する仕組みを構築。アトライフスタイルブランドの展開、企業とのコラボレーション、ギャラリー運営、多様性理解を促す研修プログラムなどを手がける。パリに欧州子会社を設立するなど海外展開も進め、「障害」のイメージを変えることを目指している。



松山東雲女子大学は
「松山東雲大学」(仮称)へ

2028年4月

男女共学化

松山東雲大学(仮称)
人文科学部 心理子ども学科

子ども専攻 小学校教諭一種免許状教職課程申請予定

※ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。